



取扱説明書

LED LCDモニター

(LEDモニター*)

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用したLCD 製品です。

このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

28MQ780

28BQ780

www.lg.com

Copyright © 2022 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

ライセンス	3
オープンソースソフトウェア通知 情報	4
組み立てと準備	4
モニターの接続	16
ユーザー設定	20
トラブルシューティング	27
製品仕様	29

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comを参照してください。



HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



The SuperSpeed USB Trident logo is a registered trademark of USB Implementers Forum, Inc.



MaxxAudio and additional MAXX trademarks are trademarks and/or registered trademarks of Waves Audio Ltd.

* USB Type-C™ and USB-C™ are trademarks of USB Implementers Forum.

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は <https://opensource.lge.com/> のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、opensource@lge.com まで電子メールでお問い合わせください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

組み立てと準備

⚠ 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品の使用をお勧めします。
- 付属品以外の使用により発生した破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。（製品が故障する可能性があります。）
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの画面に触れないでください。モニター画面に力を加えると、画面が破損するおそれがあります。

✔ ヒント

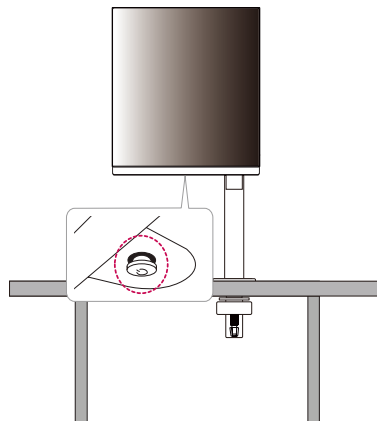
- ・ イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- ・ この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- ・ 付属品以外の部品をお求めになる際は、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ・ 付属の電源コードは、国や地域によって異なります。

サポート対象ソフトウェア

LGEのWebサイト (www.lg.com) から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。

- ・ OnScreen Control/ Dual Controller/ LG Calibration Studio

製品とボタンの説明



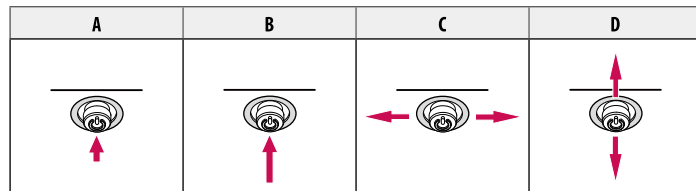
✔ ヒント

- ・ OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。

OSDジョイスティックボタンの使用方法

OSDジョイスティックボタンを指で押したり、上下左右に倒すことでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

基本機能



A (電源オン) : OSDジョイスティックボタンを指で押すと、モニターの電源がオンになります。

B (電源オフ) : OSDジョイスティックボタンを5秒以上押し続けると、モニターの電源がオフになります。

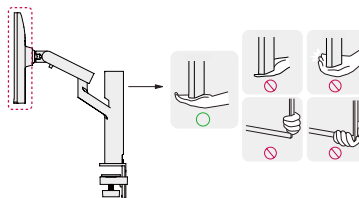
C (音量制御) : OSDジョイスティックボタンを左右に倒すと音量を調整できます。

D : 現在の入力に関する情報を表示します。

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に運搬できるように、以下の指示に従ってください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材に再梱包してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかりと持ちます。パネル自体はつかまないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶/パネル(画面)に触れないようモニターの背面を持って、画面に傷を付けないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターに強い衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

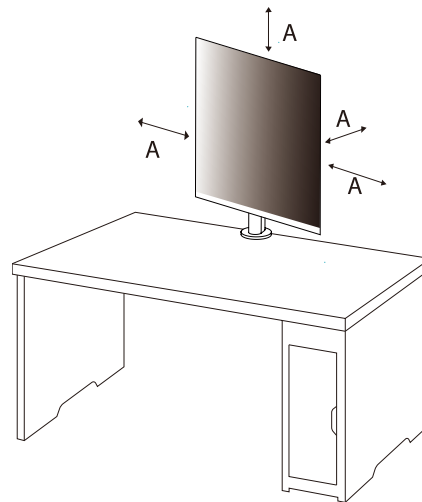


⚠ 注意

- 液晶パネル(モニターの画面)には触れないでください。
 - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。
- モニターを垂直に立てると、OSDジョイスティックボタンに当たるためモニターが落下し、損傷また怪我につながる可能性があります。また、OSDジョイスティックボタンが故障する原因になります。

テーブルへの設置

- モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm以上の空間を空けて設置してください。



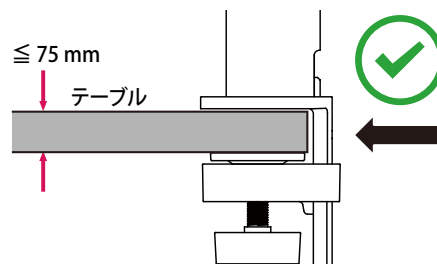
A:10cm

⚠ 注意

- ・ モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- ・ 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- ・ 製品付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。
- ・ 頑丈かつ安定したデスク、テーブルに設置してください。ガラスなど、壊れやすい素材のテーブルには設置しないでください。
- ・ 傾斜のあるテーブルや、凹凸のあるテーブルでは、安定した設置ができないことがあります。
- ・ スタンドを固定した場所に、跡が残ることがあります。
- ・ スタンドには、バッグや衣類など荷重のかかるものを掛けしないでください。
- ・ モニターが転倒しない十分な大きさのデスク、テーブルに設置してください。
- ・ スタンドは、外れないように、しっかりと固定してください。
- ・ 立ち上がったときに、モニターに頭をぶつけないよう、配置に気をつけて、しっかりと固定してください。
- ・ モニターの位置を変えるときに、無理な力を加えないでください。モニターが壁に接触することで、モニターや壁の破損、近くにいる人がケガを負うおそれがあります。

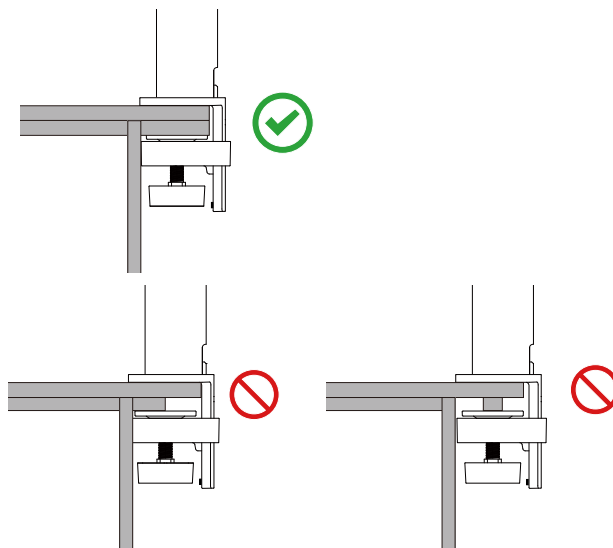
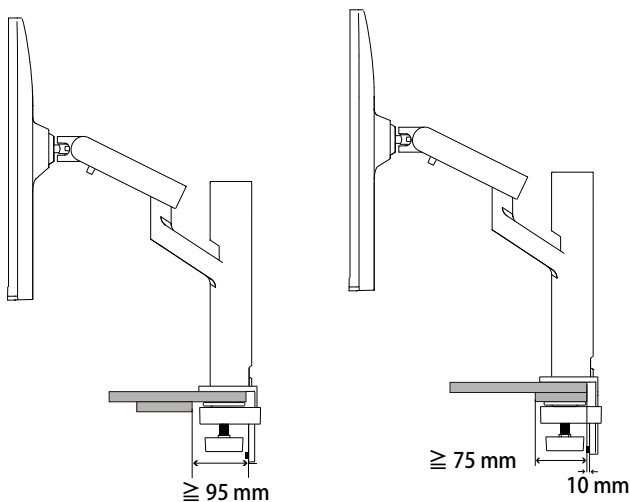
スタンドの固定方法

- ・ モニターを設置する場所に配置したら、ハンドルを回して、デスクまたはテーブルに固定します。
- ・ 設置する場所の底面に突起がないことを確認してください。
 - スタンドを固定するテーブル、デスクは厚さが75 mm以下である必要があります。



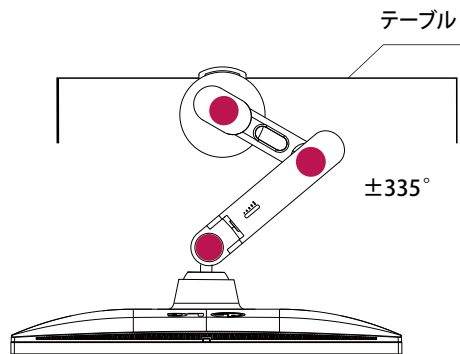
⚠ 注意

- ・ デスクやテーブルにしっかりと固定できていない場合、モニターが安定せず、配置が固定できなかったり、転倒して破損するおそれがあります。
- ・ 頑丈かつ安定したデスク、テーブルに設置してください。ガラスなど、壊れやすい素材のテーブルには設置しないでください。
- ・ 下部に突起があるデスク、テーブルに設置する場合は、以下の条件に適合した場合のみとしてください。適合しない場合は、落下による破損やケガにつながるおそれがあります。
 - テーブルの端と突起が95mm以上離れていること
 - テーブルの端から突起が10mm以内で、突起の厚さが75mm以上であること



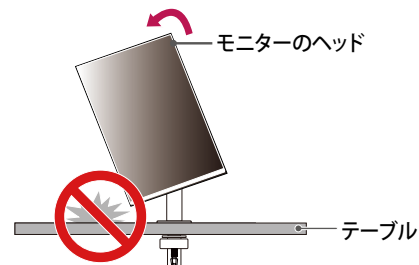
スタンドを回転させる

お使いのモニターマウントでは、モニターの表示角度を調整することができます。



ピボット機能

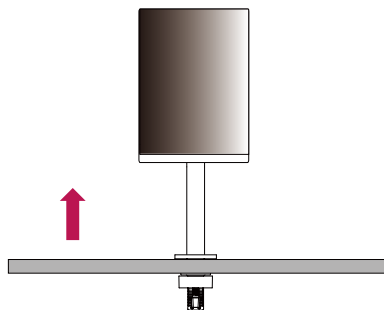
ピボット機能により、モニターを反時計回りに90°回転できます。



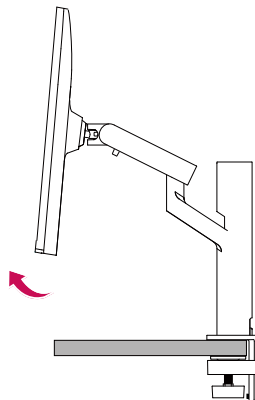
⚠ 警告

- ・ピボット機能を使用する場合、ゆっくりと回転させてください。過度な力をかけるとモニターが破損するおそれがあります。

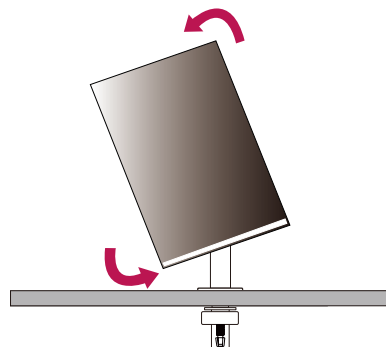
- 1 モニターの高さを一番上まで上げます。



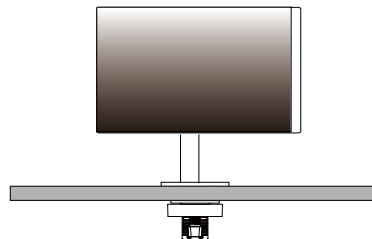
- 2 図のように、モニターが上を向くように角度調整します。



- 3 図のように、モニターを反時計回りに回転させます。

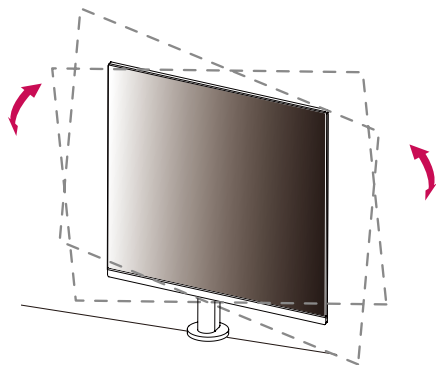


- 4 図のように、モニターを90°回転させて設置完了です。



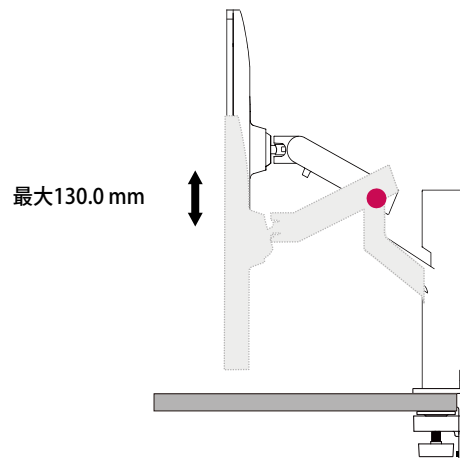
画面の水平調整

製品を設置した後、画面が片側に曲がって見える場合は、下記のように水平に角度を直してください。



スタンドの高さの調整

- 1 モニターのハンドルを必ず両手で持って動かしてください。



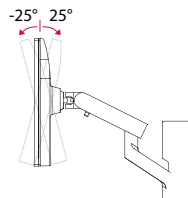
⚠ 警告

- ・ 高さを調整するときは、スタンドには触れないようにしてください。挟んで手をケガするおそれがあります。

角度の調整

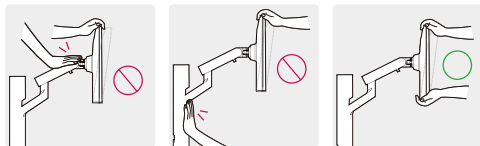
画面の角度を調整します。

画面を前後-25°から+25°に調整して、見やすい角度にします。



⚠ 警告

- 画面の角度を調整するときは、モニターの上部和基部を持ってください。スタンドに触れて調整すると手をはさんでケガをするおそれがあります。
- 画面の位置を調整するときは、液晶パネルには触れないでください。



- モニターを回転させるときは、接続されているケーブルに負荷がかからないよう注意してください。

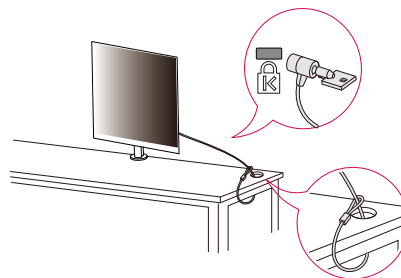
ケンジントン (Kensington) ロックの使用

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底部にあります。

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページをご覧ください。

ケンジントンセキュリティーシステムケーブルでモニターをテーブルに固定します。

ケンジントン社ホームページ: <http://www.kensington.com>

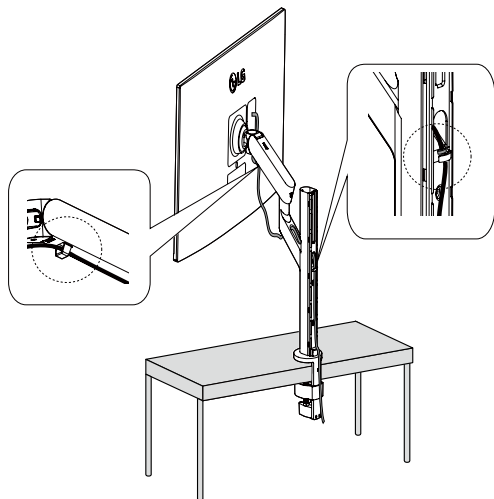


✔ ヒント

- ケンジントンロックは別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。

⚠ 注意

- ケーブルは十分な可動範囲を確保するために、十分なたるみを持たせてください。
- ケーブルが挟み込むのを避けるために、このマニュアルに記載されている配線方法に必ず従ってください。
この指示に従わないと、機器の損傷やけがの原因となります。



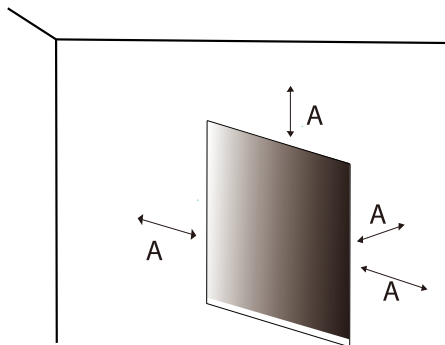
⚠ 警告

- モニターを調整する際にケーブルを外さないと、故障の原因となります。
- ケーブルを接続する前に、配線が絡まないように、モニターを適切な角度に回転させることを推奨します。

壁への取り付け

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（非同梱です。別途ご用意ください。）を取り付けます。

十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



A:10cm

壁掛け金具を取り付ける

モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具（非同梱です。別途ご用意ください。）をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

壁掛け (mm)	100 x 100
標準ネジ	M4 x L10
ネジの本数	4

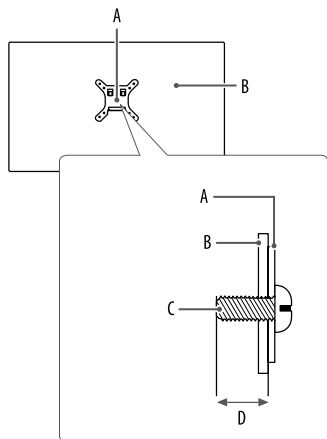


ヒント

- VESA規格で指定されているネジを使用します。
- 壁掛けに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具は別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ネジの長さは、壁掛け金具によって異なります。適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- 詳細については、壁掛け金具の取扱説明書を参照してください。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- モニターを壁に設置する前に、スタンドの取り付け手順と逆の手順でスタンドを取り外してください。

⚠ 注意

- 移動や設置の際は、先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターを天井や傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって重大な事故に繋がる恐れがあります。設置については、LG純正の壁掛け金具を使用し、販売店または資格を有する業者にご相談ください。
- けがをしないように、設置手順に従って本製品を壁にしっかりと取り付けてください。
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。規格に適合しない部品の使用、取り付けの不備による製品の破損、負傷については保証の対象外になりますので、十分ご注意の上、作業してください。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは最大8mmです。



A: 壁掛け用プレート
 B: モニターの背面
 C: 標準ネジ
 D: 最大8mm

モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

OSDジョイスティックボタンを押して、[設定] > [入力] に移動して、入力オプションを選択します。

⚠ 注意

- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり映像が正しく表示されない場合があります。
- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 長時間同一の画像を表示させ続けると、画面に焼き付きが発生することがあります。画面の焼き付きについては保証の対象外になります。焼き付きを防止するために、OSでスクリーンセーバーを設定することをお勧めします。
- 電源コードをコンセントに接続する際は、アース付きマルチタップまたはコンセントをご使用ください。
- 温度が低い場所で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すると、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PCへの接続

- このモニターは*Plug and Play機能に対応しています。

* Plug and Play: PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識してOS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
 - ハイスピードHDMI®/TM ケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TM ケーブル

DisplayPort接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像または音声に対応していないことがあります。
- 付属品のDisplayPortケーブルを使用してください。付属のケーブル以外を使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort 1.4に対応した Mini DisplayPort - DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(ケーブル、コネクタは非同梱です。別途ご用意ください。)

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器からモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
 - ハイスピードHDMI®/TM ケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TM ケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

ヒント

- Windowsは最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は非同梱です。別途でご用意ください。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ダウンストリーム端子に接続したデバイスの充電が可能です。充電速度はUSBデバイスによって異なります。

注意

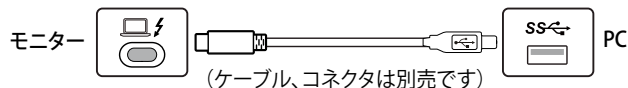
- USBデバイス使用時は次のことに注意してください。
 - 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
 - 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
 - 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります。)

HDMI/DP (DisplayPort) 入力

USBダウンストリーム端子に接続されたキーボードやマウスなどの入力機器でPCを操作したり、USBストレージのデータを接続することができます。

USB C-Aケーブルを使用する場合

USBデバイスをUSB3.0で使用する場合は、USB C-A変換ケーブル(別売)でPCのモニターのThunderbolt端子とUSB端子 (Type-A) を接続します。



USB A-Bケーブルを使用する場合

USBデバイスをUSB2.0で使用する場合は、付属のUSB A-BケーブルでPCのモニターのUSBアップストリーム端子とUSB端子 (Type-A) を接続します。

[全般]の[USBアップストリーム]メニューをUSB-Bに設定します。



ヘッドホンの接続

ヘッドホン端子 (ミニプラグ) に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。



ヒント

- 周辺機器は非同梱です。別途ご用意ください。
- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかったり、他の端子をふさいでしまうことがあります。



L字型タイプ



ストレートタイプ
(推奨)

ユーザー設定

✓ ヒント

- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本書の内容と変わる場合があります。

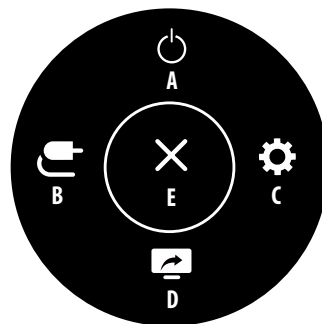
メインメニューの表示



OSDジョイスティックボタン

- 1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックボタンを押します。
- 2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 3 OSDジョイスティックボタンをもう一度押すとメインメニューが終了します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
A: [電源オフ]	モニターがオフになります。
B: [入力]	表示させる入力端子を選択します。
C: [設定]	モニターの各種設定メニューを表示します。
D: [PBPP]	複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。(デフォルト) メインメニューの下にある (D) をカスタマイズして、好みのメニューに簡単にアクセスできるようにすることができます。[設定] > [全般] > [ユーザー定義キー]
E: [終了]	メインメニューを終了します。

メニュー設定

- 1 メインメニューを表示するには、モニターの下にあるOSDジョイスティックボタンを押して [設定] を開きます。
- 2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 3 一つ前に戻るか、別のメニュー項目を設定するときは、OSDジョイスティックボタンを◀の方向へ倒すか、OSDジョイスティックボタン(🔊)を押します。
- 4 メインメニューを終了したい場合は、終了するまでOSDジョイスティックボタンを◀の方向へ倒します。



[クイック設定]



[入力]



[画質]



[サウンド]



[全般]



ヒント

- : オン
- : オフ

[クイック設定]

[設定] > [クイック設定]

- [明るさ]: 画面の明るさを調整します。
- [自動輝度]: 周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整します。
- [コントラスト]: 画面のコントラストを調整します。
- [音量]: 音量を調節します。
 - [音量]メニューが表示されているときにジョイスティックを▼の方向へ動かすと、[ミュート] / [ミュートを解除]を設定できます。
- [色温度]: 色温度を設定します。
 - [ユーザー設定]: R(赤)、G(緑)、B(青) で設定したお好みの画質を表示します。
 - [Warm[暖色]]: 映像の色合いを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。
 - [Medium[中間]]: 映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
 - [Cool[寒色]]: 映像の色合いを、青みのある9300Kの色温度に設定します。
 - [マニュアル]: 色温度を微調整することができます。
- [PBP]: 複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。
- [USB選択]: モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。

[入力]

[設定] > [入力]

- [入力選択]: 各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。
- [自動入力切替]: [自動入力切替] を [オン] に設定した場合、新しい入力に接続されると、表示が自動的に切り替わります。
- [アスペクト比]: 画面の縦横比を調整します。推奨解像度 (2560 x 2880) で表示している場合は、[全画面]、[オリジナル]、[ジャストスキャン] に設定しても、表示される映像は変わりません。
 - [全画面]: 映像信号の入力に関係なく画面全体に表示します。
 - [オリジナル]: 映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
 - [ジャストスキャン]: 映像サイズを調整せず、映像の解像度でそのまま表示します。

- [PBP]: 複数の端子にデバイスに接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。

- [入力選択]

PBP接続		サブ画面(下)			
		HDMI 1	HDMI 2	DP	USB-C
メイン画面(上)	HDMI 1	-	○	○	○
	HDMI 2	○	-	○	○
	DP	○	○	-	○
	USB-C	○	○	○	-

- [アスペクト比]: メイン画面またはサブ画面のアスペクト比を調整します。



: 1入力のみ表示します。



: メイン画面とサブ画面を半分ずつ表示します。

- [メイン/サブ画面切替]: PBPモードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。
- [メイン/サブ音声切替]: PBPモードのメイン画面とサブ画面の音声を切り替えます。



ヒント

- PBPモードでは、一部の機能やHDR機能は対応していません。

[画質]

[設定] > [画質] > [ピクチャーモード]

- [ユーザー設定]: 「画像調整」で設定した色合いを表示します。
- [鮮やか]: コントラスト、明るさ、シャープネスの設定値を高くして、鮮明な画像を表示できます。
- [HDR効果]: 通常の映像 (SDR) を HDR に近い画質で表示します。
- [ブルーライト低減モード]: 画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで「明るさ」の調節ができます。
- [シネマ]: 映像観賞に適した画質で表示します。
- [sRGB]: モニターやプリンターで標準化されるRGB色空間を適用します。
- [DCI-P3]: 米国の映画制作会社が構成するDigital Cinema Initiatives (DCI) で定めたデジタルシネマ規格の色合いで表示します。
- [FPS]: FPS (First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
- [RTS]: RTS (Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
- [色覚調整]: P型及びD型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。

✔ ヒント

- 設定できる[ピクチャーモード]はHDR (High Dynamic Range) 信号を表示している場合とSDR (Standard Dynamic Range=従来の映像) 信号の映像を表示している場合で異なります。
- DP (DisplayPort) 接続時に[ピクチャーモード]を変更した際、映像が乱れたり、PCの解像度が変わってしまう場合があります。
- OSの設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。WindowsまたはMac OSのHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。
- グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に表示されない場合があります。
- グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。

[設定] > [画質] > [画像調整]

- [明るさ]: 画面の明るさを調整します。
- [自動輝度]: 周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整します。
- [コントラスト]: 画面のコントラストを調整します。
- [シャープネス]: 画面のシャープネスを調整します。
- [SUPER RESOLUTION+]: 解像度の低い映像を鮮明に表示する機能であるため、通常のテキストやデスクトップのアイコン表示での使用は推奨されません。鮮明になりすぎることで、かえって見づらくなることがあります。
 - [High]: 最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。高解像度ビデオやゲームに最適です。
 - [Middle]: LowモードとHighモードの間の中間レベルの画像を使って、快適に表示するために画面を最適化します。
 - [Low]: 滑らかで自然な画像の表示用に画面を最適化します。静止画や、動きの少ない動画に最適です。
 - [オフ]: 最も一般的な設定で表示します。[SUPER RESOLUTION+]を無効にします。
- [ブラックレベル]: オフセットレベルを設定します (HDMIのみ)。
 - オフセット: 映像信号の基準として、これがモニターで表示できる最も暗い色です。
 - [High]: 映像信号の情報をそのまま表示します。
 - [Low]: 暗い部分をより暗くして、シャープな色合いで表示されます。
- [DFC]
 - [オン]: 明るさとコントラストを映像に合わせて自動的に調整します。
 - [オフ]: [DFC]機能を無効にします。

[設定] > [画質] > [ゲーム機能設定]

- [応答速度]: パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。標準的な環境の場合は、[Fast]を使用することをお勧めします。動きが多い場合は、[Faster]を使用することをお勧めします。[Faster]に設定すると、残像(オーバーシュート)が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。
 - [Faster]: 液晶パネルの応答速度を高速にします。
 - [Fast]: 液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。
 - [Normal]: 液晶パネルの応答速度をやや高速にします。
 - [オフ]: オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。
- [ブラックスタビライザー]: 暗いシーンできれいに見えるように黒のコントラストを制御できます。[ブラックスタビライザー]値を増やすと、画面の中間調の部分が明るくなります。(暗いゲーム画面で物体を簡単に見分けることができます。)[ブラックスタビライザー]値を減らすと、中間調の部分が暗くなり、画面のダイナミックコントラストが増加します。

[設定] > [画質] > [カラー調整]

- [ガンマ]
 - [モード 1]、[モード 2]、[モード 3]: ガンマ値を補正します。「モード 1」に設定すると中間色が明るく、「モード 3」に設定すると中間色が暗く表示されます。
 - [モード 4]: ガンマ値の調整が不要な場合は、[モード 4]を選択してください。
- [色温度]: 色温度を設定します。
 - [ユーザー設定]: R(赤)、G(緑)、B(青) で設定したお好みの画質を表示します。
 - [Warm[暖色]]: 映像の色合いを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。
 - [Medium[中間]]: 映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
 - [Cool[寒色]]: 映像の色合いを、青みのある9300Kの色温度に設定します。
 - [マニュアル]: 色温度を微調整することができます。
- [赤] / [緑] / [青]: [赤] / [緑] / [青]のそれぞれの色合いを調整できます。
- [6色相環]: 色合いおよび6色相環(赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄)の色合いと彩度を調整し、その設定を保存して、ユーザーの色要件に対応します。
 - 色合い: 各色の色相を調節します。
 - 彩度: 各色の彩度を調整します。値を低くすると、彩度が下がり、色は明るくなります。値を高くすると、彩度が上がり、色は暗くなります。

[設定] > [画質] > [ピクチャーモード初期化]

- 画像調整の設定値を初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。

[サウンド]

[設定] > [サウンド]

- [音量]: 音量を調節します。
 - [音量]メニューが表示されているときにジョイスティックボタンを▼の方向へ動かすと、[ミュート] / [ミュートを解除] を設定できます。
- [Waves MaxxAudio®]
 - [オン]: スタジオクオリティを実現したサウンドツール、Waves 社MaxxAudio®を有効にします。Technical GRAMMY AWARD®を受賞した高品質サウンドをお楽しみいただけます。
 - [オフ]: [Waves MaxxAudio®]機能を無効にします。

[全般]

[設定] > [全般]

- [言語]: OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。
- [USB選択]: モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。
- [SMART ENERGY SAVING]: 輝度補正アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。
 - [High]: [SMART ENERGY SAVING]によって、より効率的に消費電力を抑えます。
 - [Low]: [SMART ENERGY SAVING]によって、消費電力を抑えます。
 - [オフ]: 機能を無効にします。
- [ディープスリープモード]: [ディープスリープモード]を[オン]にすると、モニターの待機消費電力が最小になります。
 - [オン]: [ディープスリープモード]を有効にします。
 - [オフ]: [ディープスリープモード]を無効にします。
- [電源LED]: [電源LED] 機能がオフの場合は、次のように動作します:
 - オンモード: 点灯
 - スリープモード(スタンバイモード): 点滅
 - 電源がオフのとき: オフ
- [自動スタンバイ]: モニターを一定の間操作しないと、モニターは自動的にスタンバイモードに切り替わります。
- [入力互換性バージョン]: 入力互換性バージョンを、した外部デバイスと同じバージョンに設定します。
 - DisplayPortおよびUSB-C の場合、HDR機能を使用するには1.4以上に設定してください。
 - HDMI入力の場合、HDR機能を使用するには2.0以上に設定してください。
- [Beep音]: モニター起動時に鳴るビーブ音のオン、オフを設定できます。
- [ユーザー定義キー]: お好みのメニューに簡単にアクセスできるように、メインメニューをカスタマイズすることができます。
 - [PBP]: 複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。
 - [ピクチャーモード]: ピクチャーモードを設定します。
 - [KVMスイッチ]: モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。
- [OSDロック]: 設定可能な項目を制限します。
[クイック設定]の[明るさ]、[自動輝度]、[コントラスト]、[音量]、[入力]のメニュー、および[全般]の[OSDロック]と[表示情報]を除き、すべての機能が無効になります。
- [表示情報]: 次の情報が表示されます: [電源投入時間合計]、[解像度]
- [初期化]: 初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。



ヒント

- [SMART ENERGY SAVING]
 - 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。
 - [SMART ENERGY SAVING]の設定が[High]または[Low]になっている場合、映像ソースによって輝度が変化します。

トラブルシューティング

画面に何も表示されない。

- 電源が入らない
 - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。
- 電源LEDが点灯しない
 - 電源コードの接続を確認し、電源ボタンを押します。
- 電源は入っているのに電源LEDが白色に点灯しない
 - 接続されている入力の有効であることを確認します ([設定] > [入力])。
- 画面に[信号が見つかりません。]と表示される。あるいは、画面が表示されない
 - 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。(本製品付属のケーブルの使用をお勧めします)
- 電源ランプが点滅している
 - モニターがスリープモードになっている場合は、マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、表示をオンに切り替えます。
 - コンピューターの電源が入っているかどうか確認します。
- 画面に[範囲超過]と表示される
 - このメッセージは、PC (グラフィックカード) からの信号が、本製品の水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の「製品仕様」を参照して、適切な周波数を設定してください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される

- ・ 画面がちらつく
 - 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。
 - OS上で正しい解像度に設定してください。推奨される(最適な)解像度でない場合、文字がぼやけたり、画面がかすれて表示されることがあります。
 - 設定の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。

画面に残像が生じる

- ・ モニターの電源をオフにして残像が見える
 - 静止画を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。
 - モニターを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。
- ・ 画面上に小さな点が表示される
 - 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け(ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点)が見えることがあります。これはLCD画面にとって通常のことであり、エラーではありません。また、モニターの性能には関連しません。

一部のOSDメニューの設定ができない

- ・ OSD で設定できない項目がある
 - OSDがロックされています。[全般]で[OSDロック]をオフに設定します。
 - PCの設定と入力信号を確認してください。(HDR、信号がない)

音声が出力されない

- ・ 内蔵スピーカーまたは接続した音声機器から音声が出力されない(音が聞こえない)
 - ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正しく接続されているか確認してください。
 - モニターの音量の設定が「ミュート」または「0」になっていないか確認してください。
 - WindowsやPCの再生ソフトウェアの音量を確認してください。(OSや再生ソフトウェア等によって設定方法が異なります)

「モニターが認識されません。Plug and Play (VESA DDC) のモニターが見つかりました」というメッセージが表示される

- ・ OSで正しく設定できない
 - 弊社のWebサイト (<https://www.lg.com>) からディスプレイドライバーをインストールしてください。
 - グラフィックカードが Plug and Play 機能に対応しているかどうかを確認してください。

製品仕様

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。
~記号は交流を意味します。---記号は直流を意味します。

色深度:

- 8-ビット/10-ビット カラーに対応します。

解像度

- 2560 x 2880 @ 60 Hz
(HDMI / DP / USB-C)

環境条件

- 動作条件
 - 温度: 0 °C ~ 40 °C
 - 湿度: 80 % 未満
- 保管条件
 - 温度: -20 °C ~ 60 °C
 - 湿度: 85 % 未満

寸法: モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)

- ・ スタンドあり (mm) : 481.5 x 843.2 x 461.3
- ・ スタンドなし (mm) : 481.5 x 549.5 x 44.9

重量 (パッケージを除く)

- ・ スタンドあり (kg) : 9
- ・ スタンドなし (kg) : 4.3

電源

- ・ 電源定格: 19.5 V --- 10.0 A
- ・ 消費電力
 - オンモード: 40 W 標準*
 - スリープモード (待機モード) ≤ 0.5 W **
 - オフモード ≤ 0.3 W

AC/DCアダプタ

- 入力: AC 100 V ~ 50/60 Hz, 2.5 A/3.0 A
- 出力: 19.5 V --- 10.8 A

* 消費電力の動作モードは、LG Electronicsの試験基準によって測定されています。(最大解像度で、白を画面全体に出力した状態、出荷時の状態)

* 消費電力は動作環境やモニターの設定によって変わります。

サポートモード

(プリセットモード、DisplayPort / USB-C)

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1920 x 1080	66.587	59.934	+/-	
2560 x 1440	88.79	59.95	+/-	PBPモード
2560 x 2880	177.67	59.98	+/-	

(プリセットモード、HDMI)

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1920 x 1080	66.587	59.934	+/-	
2560 x 1440	88.79	59.95	+/-	PBPモード
2560 x 2880	87.59	29.99	+/-	
2560 x 2880	185.42	59.97	+/-	HDMI 2.0

HDMIタイミング (動画)

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480p	31.5	60
720p	45	60
1080p	67.5	60
2160p	135	60



製品のモデルと製造番号は背面と側面にあります。
メンテナンスサービスの際に必要なになりますので、ご記入ください。

モデル

製造番号



This Product qualifies for ENERGY STAR®

Changing the factory default configuration and settings or enabling certain optional features and functionalities may increase energy consumption beyond the limits required for ENERGY STAR® certification.

Refer to ENERGYSTAR.gov for more information on the ENERGY STAR® program.